

## 駒止湿原山行報告

**【山行日】** 2015年6月13(土) 晴れ  
**【集 合】** 栃木市運動公園P AM 6:00  
**【費 用】** マイカー2台 : 3,100円  
**【メンバー】** CL:鈴木、岩淵、大西、島田、  
田村、福田ケ、福田夕、藤原、渡辺  
**【コースタイム】** 栃木市運動公園P6:00＝駒止湿原  
P8:20 大谷地入口 8:30～白樺谷地入口 9:00～  
水無谷地入口 9:10～水無谷地最奥部 9:20～白樺  
谷地入口 9:50～駒止湿原 P10:45＝南郷スキー場  
11:10/12:30＝道の駅「きらら289」12:50/13:30＝  
栃木市市運動公園P16:10



去年、駒止湿原のワタスゲ群落があまりにも素晴らしかったので、今年は会の皆さんにも見ても  
らいたいと、ヒメサユリ見学と併せて計画した。  
駒止湿原入口に40台止められる駐車場があり、  
綺麗な水洗トイレが完備している。  
トイレを済ませ、ストレッチを行ってから出発する。  
湿原入口にある「環境整備協力金」箱に、各自  
100円を入れ、雑木林の道を200mくらい進むと  
最初の湿原「大谷地」の入口に着く。  
ここは、三つある湿原の中で一番大きな湿原で  
ある。ミズバショウの花は終わって、大きな葉だ  
けが残っていた。ワタスゲは昨夜の雨で穂綿が  
濡れており見栄えがしなかったが、レンゲツツジやコバイケイソウが目を楽しませてくれる。梅雨の  
合間の晴天に恵まれ、青空に新緑がひととき鮮やかに映る。後ろから来た自然保護観察員の方によ  
ると、ワタスゲは去年に比べ良くないが、  
コバイケイソウは数年に一度の当たり年だ  
そうだ。湿原のミズゴケの間には、タテヤマ  
リンドウの花が可愛らしく咲き、ワタスゲも陽  
に照らされて穂綿がフワフワに膨らんできた。  
大谷地の奥まで行くとワタスゲのジュウタン  
に「ワ～～綺麗」と歓声が上がる。大谷地が  
終わると、開拓農道に出て左へ進む。  
200mくらいで2つ目の湿原、「白樺谷地」の  
入口に着き案内板に従って右に入る。  
カメラを担いだ男性に会い、「今、熊に出会っ  
た。」と言う。「どこで？」と聞くと、この少し先で出会い、林の中へ入って行ったそうだ。大勢だから大  
丈夫と、大きい声でおしゃべりをしながら白樺谷地へ入って行く。白樺谷地は、3つの湿原の中では

去年、駒止湿原のワタスゲ群落があまりにも素晴らしかったので、今年は会の皆さんにも見ても  
らいたいと、ヒメサユリ見学と併せて計画した。  
駒止湿原入口に40台止められる駐車場があり、  
綺麗な水洗トイレが完備している。  
トイレを済ませ、ストレッチを行ってから出発する。  
湿原入口にある「環境整備協力金」箱に、各自  
100円を入れ、雑木林の道を200mくらい進むと  
最初の湿原「大谷地」の入口に着く。  
ここは、三つある湿原の中で一番大きな湿原で  
ある。ミズバショウの花は終わって、大きな葉だ  
けが残っていた。ワタスゲは昨夜の雨で穂綿が  
濡れており見栄えがしなかったが、レンゲツツジやコバイケイソウが目を楽しませてくれる。梅雨の  
合間の晴天に恵まれ、青空に新緑がひととき鮮やかに映る。後ろから来た自然保護観察員の方によ  
ると、ワタスゲは去年に比べ良くないが、  
コバイケイソウは数年に一度の当たり年だ  
そうだ。湿原のミズゴケの間には、タテヤマ  
リンドウの花が可愛らしく咲き、ワタスゲも陽  
に照らされて穂綿がフワフワに膨らんできた。  
大谷地の奥まで行くとワタスゲのジュウタン  
に「ワ～～綺麗」と歓声が上がる。大谷地が  
終わると、開拓農道に出て左へ進む。  
200mくらいで2つ目の湿原、「白樺谷地」の  
入口に着き案内板に従って右に入る。  
カメラを担いだ男性に会い、「今、熊に出会っ  
た。」と言う。「どこで？」と聞くと、この少し先で出会い、林の中へ入って行ったそうだ。大勢だから大  
丈夫と、大きい声でおしゃべりをしながら白樺谷地へ入って行く。白樺谷地は、3つの湿原の中では

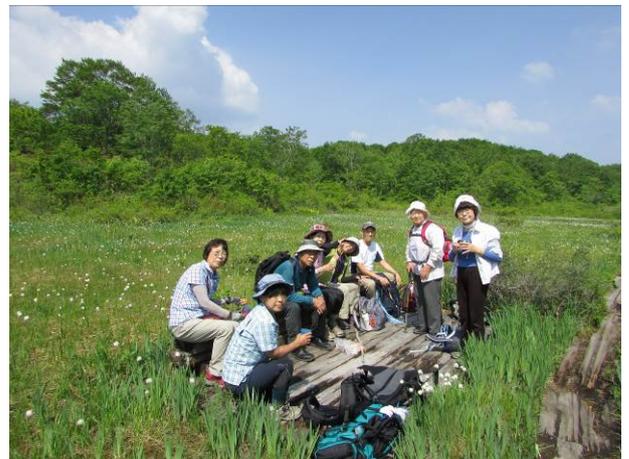




一番小さな湿原だが、ワタスゲのじゅうたんはとても綺麗。大きなカメラを担いだ人達が、休憩所でカメラを構えてシャッターを押していた。

白樺谷地を抜け、ブナ林を通過して3つ目の湿原「水無谷地」に入る。名前は水無谷地だが、水が一番多い湿原だ。木道に沿って小川が流れ、小川に沿ってミズバショウが群落をなしている。ニッコウキスゲも、まだつぼみだが数が多く来週には見ごろを迎えそうだ。途中のベンチがある休憩所でコーヒーブレイク。ワタスゲのじゅうたん

を眺めながら、コーヒーとバームクーヘン、ビワやパイナップルで喉を潤す。水無谷地の最奥まで行き、ここからは来た道を引き返す。開拓農道からは、大谷地が一方通行なのでそのまま開拓農道を進み、途中の木陰で一休み。スイカやトマト、スモモなど次から次と出て来たものをすべていただく。そこから農道を10分も歩くと、駐車場に着いた。



そこから二つ目の目的地、ヒメサユリ公園へ向かう。山口の交差点を右折し、堺の交差点から R401へ入ると南郷スキー場前で車を止められた。どこまで行くのか聞かれ「ひめさゆり公園まで」と言う

と、今日はそちらへは行けませんとの事。「ひめさゆりを見るなら、ここに車を止めて南郷スキー場まで歩いて行ってください」と言われ、車を置いて歩いて行くことにする。標高差120mの舗装道路歩きはきつい。この日は南会津町主催のウォーキング大会が行われていて、大勢の参加者が下りてくる。降りてくる人に「ヒメサユリは咲いていますか？」と聞くと「飽きるくらい咲いているよ」と言



われ元気が出る。途中に、ウォーキング大会のテントがあり、飲み物やキュウリやワラビなどをサービスしている。「参加者以外でも良いですか？」と聞くと、「どうぞ、どうぞ」のお言葉に甘えて美味しくいただいた。上のスキー場のゲレンデー面に、ヒメサユリの花が咲いていてとても綺麗。初めての W さんや I さんは「ヒメサユリって、こんなに綺麗な花なんだ」と大感激。スキー場の上部まで歩いて行き、ヒメサユリの花と、ニッコウキスゲの花を心ゆくまで満喫した。

下りはウォーキング大会の参加者と一緒の下り。普段は車で上のスキー場までは入れることや、その先の「宮床湿原」から「駒止湿原」まで車で行けることを教えてもらった。

駐車場から来た道を戻り、道の駅「きらら289」で昼食タイム。それぞれ好きなものをオーダーし、お腹を満たして帰路につく。途中、農産物直売所や道の駅「たじま」に寄りお土産をゲット。

梅雨の晴れ間に花を楽しむことが出来、大満足の日となった。